

令和6年度第1回 宗像市保健福祉審議会議事録(要旨)

開催年月日	令和6年7月23日(火)
開催時間	19時00分～20時20分
会場	宗像市役所北館2階 202会議室
宗像市保健福祉審議会 委員出席者	松倉副会長、岩男委員、瓜生委員、北原委員、坂口委員、 小川委員、椛田委員、柴田委員、淵上委員、前村委員、 水島委員、宮原委員、唐木委員
宗像市出席者	林田健康福祉部長、福嶋保険医療担当部長、安川健康課長、 健康課健康サポート係 山本主幹、八木介護保険課長、介護保 険課介護保険係 浪瀬係長、福祉政策課障害者福祉係 甲斐田 主幹、江里口
事務局	【審議会担当：松井福祉政策課長 福祉政策課保健福祉政策係 吉田主幹、小原、徳丸】

【開会】(19:00)

福祉政策課長：宗像市保健福祉審議会規則第5条第2号により、委員の半数以上の出席が宗像市保健福祉審議会(以下「審議会」という。)の成立条件である。本日は委員総数14人のうち13人が出席しているため、審議会は成立することを報告する。

1. 開会あいさつ

副会長：鬼崎会長が急遽、やむを得ない事情により欠席されることになったため、進行を務める。ただいまから令和6年度第一回審議会を開催する。

2. 委嘱状の交付について

事務局：人事異動により2名の方が辞任されたので、後任2名の方に交付する。福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所 保健監 唐木 敦子様、宗像医師会 副会長 宮原 道生様。本来なら市長が手渡しするところだが、市長が公務のため代わりに健康福祉部長より交付する。任期は令和6年5月1日から令和7年11月30日までとなる。

(新しい委員の自己紹介)

3. 議事録（議事要旨）署名委員の指名について

副会長：本会議の議事録について。発言者ごとに当該発言の要点記録によるものとする。また、議事録署名委員を2人指名する。名簿順に選出ということで梶田委員と唐木委員に引き受けていただきたいが、いかがか。

（両委員が承認）

●結果：議事録署名委員に梶田委員と唐木委員が指名された。

4. 報告事項

（1）第4次宗像市保健福祉計画の進捗状況（令和5年度分）

副会長：第4次宗像市保健福祉計画の進捗状況について。

（福祉政策課保健福祉政策係担当より説明）

副会長：この件について、事前に意見や質問はなかったが、本日何かご意見や質問はないか。

水島委員：P62の放課後子ども教室とP61の学校プレーパークはどのような関係性にあるのか。

福祉政策課保健福祉政策係：関係課が出席していないので、確認次第この場で回答する。

副会長：その他に質問等はないか。

前村委員：P19生活習慣病の発症や重症化の予防の中段、「健康マルシェ」という名称はご高齢の方が聞くと、どのようなものか想像できるものなのか。

健康課健康サポート係：骨密度測定、血圧測定、血管年齢測定という健康に関心を持っていただけるような測定器を置いたコーナーを各コミュニティ地区の皆様には「健康マルシェ」として紹介している。地域の祭りの中で行っているので、看板に健康マルシェと書いているが、地域の方がこれが“マルシェ”と自覚してきているかは、分かりかねる。コミュニティセンター事務局や健康福祉部会には、「健康マルシェ」という取り組みがあるということで紹介している。

前村委員：内容がわかるものに名称変更したほうがいいのではないか。

宮原委員：自治会の副区長の立場から意見してもいいか。地区で「健康マルシェ」の案内を閲覧する際、ネーミングの下に、何をするか詳細が載っているため、混乱しないように思う。「健康診断しますよ」というと皆さん構えてしまう場合もあるので、「健康マルシェ」のような名称のほうがいいのではないか。

副会長：「健康マルシェ」の内容は、健康診断ですよと内容が伝わる工夫をされているということ。他にご意見等ないか。

福祉政策課保健福祉政策係：水島委員の質問に関しては、小原が戻り次第回答する。

(2) 第1期宗像市障がい者施策推進計画について

副会長：第1期宗像市障がい者施策推進計画について、事務局から説明をお願いします。

(福祉政策課障害者福祉係担当より、計画の諮問に対してのお礼及び本計画に掲げた139項目の具体的な施策について、今後本市の障がい者施策の推進に努めていくことを説明)

副会長：この件について、意見や質問はないか。

(質問等なし)

(3) 第9期宗像市高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

(介護保険課担当より概要説明)

副会長：この件について、意見や質問はないか。

(質問等なし)

(4) 宗像市自殺対策推進計画(第2期)について

副会長：説明をお願いします。

(健康課担当より概要説明)

副会長：この件について、第1期が今年度最終年度となるので、引き続き第2期について説

明があった方向性で年度内に策定していく。この件について、意見や質問はないか。

副会長：宗像市の30代男性の自殺者が突出していることについて、分析はしているか。

健康課長：分析というには至らないが、職場でのストレスが主な要因ではないかと考える。
仕事をしているため市役所と一番関わりにくい年代であり、アプローチが難しい層と考える。こういった層にどのようにアプローチしていくか今後考えていく。

副会長：他に何かお気づきの点はないか。

前村委員：P2 6. 宗像市の課題と施策の視点の中に「各種相談窓口の周知」と書かれていた。20年以上住んでいるが、そのような窓口がどこにあるのか知らない。

副会長：20年以上住んでいても、窓口を知らないということは、最近越してきた方々はもっと分からないだろうから、もっと周知したほうが良いというご意見か。

健康課長：相談のきっかけには、いろいろな要因が重なりあっている。きっかけの要因となる相談窓口で一旦相談を受け、必要などころにつないでいく体制をとっている。相談窓口一覧は総務課にて作成しているが、悩んでいる方にピッタリの相談窓口があるかは、状況によると思う。健康課には、こころの相談窓口がある。ご意見を伺い、計画策定の中でまだまだ周知していく必要があると考える。

副会長：自殺対策のための相談窓口というよりは、そこに至るまでにいろいろな過程があって、介護に疲れた、いじめられているとかそれぞれの窓口があるので、一旦そちらで対応して、全部に繋がる窓口としてこころの相談窓口があるということ。

福祉政策課長：いろいろな分野の福祉の窓口は設置しているが、前村委員がおっしゃったとおり、周知が不足しているというのは、去年アンケートを取ったなかでも、同じようなご意見をいただいた。そこで、本年度福祉分野の相談窓口を記したチラシを作成している。そのチラシの設置場所は、従来の場所とは違い、必要な人の目にふれるような場所に設置している。

福祉政策課保健福祉政策係：具体的な設置場所は、地域包括支援センター、相談を受けている各相談窓口、コミュニティセンター。また、民生委員を通じて配布している冊子 SILVA にも同様の内容を掲載し、65歳以上の高齢者のいる世帯に配布している。障がい・高齢に関する事業者と話す機会がある時には、チラシの案内もしている。チラシを取りにいっ

ているので、皆様に後ほど配る。

副会長：今は、先ほどのような場所に設置して、人目につくよう工夫しているということだ
と思うが、これまではどこに置いていたのか。

福祉政策課保健福祉政策係：チラシは本年度初めて作成したので、今後各所様々な場所に配
布していきたい。

健康福祉部長：まだまだ相談窓口の啓発ができていない状況なので、紙媒体だけでなく、ホ
ームページやLINEを活用して掲示していきたい。

(チラシ配る)

健康福祉部長：イメージとしては、自分が一番悩んでいるところ、例えば生活困窮であったり、
身体・こころの具合が悪いとかいうところの窓口に行ってもらい、複合的な悩みがあ
れば、別の窓口にも繋ぐというシステムをつくっているの、活用していただければと思
う。

宮原委員：自分の所属する自治会の福祉委員より質問を預かった。「亡くなった後の手続き
は、市役所で丁寧に教えてもらったが、家などの相続の手続きは遠くまで行ったものの、
やり直し等、大変なので事前に相談するところはないか。」

福祉政策課保健福祉政策係：社会福祉協議会が行っている「心配ごと相談」というものがあ
る。法律に詳しい方が、財産・離婚・家族関係などの日常生活上の困りごとなどの相談を
受けていて、その内容の中に相続に関する相談も多くあると聞いている。

健康福祉部長：どうしてもわからない時は、なんでも相談を活用いただければと思う。

副会長：窓口の周知に関して、力を入れていることが分かった。

(5) 宗像市保健福祉計画について

(福祉政策課保健福祉政策係担当より説明)

副会長：宗像市保健福祉計画をその上位計画であり、9つの分野で構成されている宗像市総合計

画の中に組み込んでいくという主旨。

唐木委員：健康むなかた21が宗像市の健康増進計画にあたり、個別計画であったものが総合計画に組み込まれるということか。

福祉政策課保健福祉政策係：そのとおり。

水島委員：市の総合計画は4つの柱で馴染んでいたのに、9つの分野に分かれて慣れるのかと不安。例えば、総合計画の中で障害者の雇用の問題はどのようになるのか。

福祉政策課障害者福祉係：障害のある方の雇用については、個別の施策を常に掲げているので、それに基づき、同じ熱量で進めていく。

宮原委員：障害のある方の避難先はどこかという問題があるので、また次回にでも教えてほしい。

副会長：他にご意見等あるか。審議会の仕事の主なものが、宗像市保健福祉計画の内容について話し合うということでこれまできたが、宗像市保健福祉計画が無くなるということで、この審議会の位置づけについても整理してほしい。本日は、会長も不在なので、折を見て報告をお願いしたい。

(1) 第4次宗像市保健福祉計画の進捗(令和5年度分)について

福祉政策課保健福祉政策係：先ほど保留していた回答について。学校プレーパークと放課後子ども教室について。まず、プレーパークについては、メイトム宗像で行われているものが、出張版として学校で行われている。本年度は5校を予定している。放課後子ども教室については、コミュニティが主体的に取り組む居場所づくりとなっている。例えば、吉武地区の寺子屋等の取り組みがある。

副会長：その他連絡事項等ある方はいるか。事務局から連絡をお願いしたい。

事務局：次回11月～12月に開催したい。開催日が近づいたら日程調整するため、協力ををお願いする。

副会長：以上で、審議会を終了する。

【閉会】(20:20)

令和6年 9 月 5 日

署名 花田克明

署名 唐不敦子